

村井ひできの 政策

詳細は公式サイト
をご覧ください



<https://muraihideki.com/>

- 「責任ある積極財政」で、物価高を乗り越え、強い経済を創る
- 全ての方が安心できる「全世代型社会保障」の構築
- 一人ひとりの子どもを伸ばす学習環境の整備
- 毅然とした外交・安全保障の推進
- 国民の不安と不公平感に正面から応える外国人政策
- 防災・減災対策の強化
- 信頼回復に向けた更なる政治改革の断行
- 憲法改正の推進

村井ひできの 実績

「国会運営の責任者」として臨んだ5期目

「熟議の国会」を実現

少数与党下、石破・高市政権と続けて「国会運営の責任者」を務め、与野党協議の最前線に立ちました。官邸と緊密に連携し、幅広い政党との信頼関係を基に合意形成を主導。官邸勤務3年間の政策立案経験を活かし、「熟議の国会」を実現しました。

物価高対策を推進

昨年の臨時国会で、減税と給付を組み合わせた総合的な負担軽減策を実現しました。

- ガソリン暫定税率廃止
- 電気・ガス代支援をスタート
- 重点支援地方交付金拡充
(さいたま市では水道料金引下げ予定)
- 子ども一人2万円給付
高校授業料・小学校給食無償化
- 年収の壁178万円への引上げ決定

「積年の課題」政治資金改革を実現

サラリーマン家庭出身の政治家として、世の中の「当たり前の感覚」を永田町に吹き込むべく、旧文通費の抜本見直しを主導しました。改革協議会座長として、全議員を代表して改革私案をまとめ、使途公開と残金返納を義務化。与野党を問わず、国會議員の間で改革に抵抗する様々な声が上がりましたが、「国民目線」を貫き、法改正を実現しました。

国民の暮らしと安心を守り抜く

「責任ある積極財政」のもと、日本の経済政策は大きく前に動き出しました。昨年の臨時国会では、ガソリン暫定税率廃止、「年収の壁」引き上げ、高校授業料・公立小学校給食費の無償化などを実現。私は「国会運営の責任者」として改革の先頭に立ちました。

今後は、食料品の消費税を0%に引き下げるなど、更なる物価高対策を講じます。その上で、年金の抜本改革、地域医療の強化、訪問医療・看護・介護の充実など、安心の社会保障を実現します。また、LRT敷設・コミュニティバス路線の充実など、公共交通の利便性向上をはかり、皆様の暮らしと安全を守り抜いて参ります。

プロフィール 昭和55年さいたま市生まれ。45歳。家族：妻、長男(11歳)、次男(8歳)、三男(6歳)。浦和市立別所小学校卒業。東京大学卒業後、財務省入省。ハーバード大学院修了。平成23年財務省退官。平成24年初当選、以降4選。令和3年内閣総理大臣補佐官。令和5年内閣官房副長官。令和6年議院運営委員会筆頭理事兼自民党国会対策委員会筆頭副委員長。その他の役職：埼玉県野球協会会長、埼玉県サイクリング協会会長など。

45歳 3児の父
働き盛り

ひ
村
で
き
井

自民党 公認